

きっかけ創りを楽しもう



ふれあい北守谷

第5号 平成28年3月

北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会報告(1)

地域福祉活動計画とは住民が中心となって「みんなであわせ」を目指す計画です。各地区で地域の事情が違ふことから守谷・高野・大野・大井沢・北守谷・みずき野の6地区に分かれて計画をつくり活動しています。

北守谷地区の地域福祉活動計画は、「地域・世代を超えた交流の輪(和)」を基本理念とし、「きっかけ創りを楽しもう」を活動のモットーにしている住民が作った住民のための福祉活動計画です！

今回は24年度から始まったこれまでの地域福祉活動計画をまとめてみました。

北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会は現在、次の5部会に分かれて活動しています。

- ☆どこでも茶屋ぶらぶら亭部会
- ★協力員制度部会
- ☆広報部会
- ★北守谷地区異世代交流部会
- ☆福祉グラウンドゴルフ部会

どこでも茶屋
ぶらぶら亭部会

協力員制度
部会

広報部会

北守谷地区
異世代交流部会

福祉グラウンド
ゴルフ部会

どこでも茶屋ぶらぶら亭部会

北守谷地区地域福祉活動計画のモットーである“きっかけ創りを楽しもう”のコンセプトのもとに、地域の人たちが気軽に集まってコーヒーを味わいながら会話を楽しめる場所として、平成25年に「どこでも茶屋 ぶらぶら亭」が始まりました。現在は、有志のボランティアもメンバーに加わり活動しています。さまざまなサークルとのコラボ開催で、野外コーラスやミニSLを楽しんだり、有機野菜販売もあり、地域の皆さまに親しまれる「憩いの場」となっています。

毎年、春と秋のそれぞれ3か月間開催しています。今年の春は3月20日から6月19日までの毎週日曜日です。是非、お気軽にお立ち寄りください。



イラスト：伊奈特別支援学校中学部3年 関山 信

北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会報告(2)

協力員制度部会

住民同士が助け合う仕組みづくりを進めることを目的として協力員制度部会が発足しました。北守谷内の4地区で、地域の現状と課題を把握するため、区長と民生委員を招き情報交換会を行いました。防災体制作りと被災者の支援方法、老人会・子供会のあり方、町内会長の任期が短いなど様々な課題が浮き彫りにされました。今後、各自治会と協力して対応を検討していきます。

また、地域の好事例を紹介して参考にしてもらおう取り組みも行っています。

《参考例》御所ヶ丘5丁目助け愛の会

地域の住民が助け合い、支え合う仕組みとして御所ヶ丘5丁目の有志で『御所ヶ丘5丁目助け愛の会』を立ち上げています。

町内会の高齢者世帯や障がい者世帯等、支援が必要な人に助け愛の会が、ごみ出し、植木の剪定、ペンキ塗りなど、様々な作業を代行しています。

また、会員相互の交流を図るため毎月茶話会を開いています。

地域福祉の原点である「住民同士が支え合う住みよいまちづくり」のモデル事業と言えるものです。



広報部会

福祉情報の提供、北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会のPRとして、平成24年11月から広報紙の発行を始めました。

当初の名称は「守谷市地域福祉活動計画北守谷地区便り」でしたが、現在は「ふれあい北守谷」になっています。

地域福祉活動計画実行委員会の活動状況報告、北守谷地区のおまつりや学校関連のイベントの様子等を掲載しています。また、北守谷地区内のボランティアグループの活動ぶりや、地区内のサロンの様子などを取材して紹介しています。

現在は年4回、3、6、9、12月に守谷市の広報紙「もりや」と一緒に各戸に配布しています。



第1号

北守谷地区異世代交流部会（守谷おもちゃ病院事業）



壊れたおもちゃを修理することで若いお母さんたちを支援するとともに、定年退職者が中心のおもちゃドクターと子どもたちの交流を図っています。

また、児童クラブでは子どもたちとドクターが手作りおもちゃに挑戦していましたが、ドクターの優しい眼差しと子供たちのほじける笑顔が印象的でした。

そのほか、簡単な大工仕事や家庭用包丁研ぎ、傘の修理なども行い、技術を生かした地域間交流を行っています。



福祉グラウンドゴルフ部会

健康で長生きするためには運動をすることが必要です。また地域に親しい仲間がいることも大事です。その場を提供するために「福祉グラウンドゴルフ部会」が発足しました。

第1、第3水曜日に大山公園で、第2、第4水曜日に薬師台5丁目多目的広場でいずれも午前9時半から12時まで開催しています。

参加者も増えつつあり、みなさん生き生きとしてプレーしています。

初めて体験する方でも貸し出し用のクラブがありますのでお気軽にお越しください。



障がいのある子どもとどう接したらいいの？（伊奈特キャラバン隊公演より）

障がいのある子どもについて「大変そう」「なんか怖い」「気の毒だけどどう接していいかわからない」と思われる人が多いのではないのでしょうか。

北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会では、つくばみらい市の伊奈特別支援学校に通うお子さんの保護者の会「伊奈特キャラバン隊」に来ていただき、障害とはどういうものか、どう接したらよいかについて公演をしていただきました。

伊奈特別支援学校は知的障がい、発達障がいを持つ児童生徒が通う県立学校で守谷市からは60人以上が通っています。

キャラバン隊は地域の方に障がいについて知ってもらい、日々頑張っている子どもたちの可能性を分かってもらいたいと公演活動を続けています。



それでは公演の内容をご紹介します。

「障がいとは、苦手なことがあって周りの人からの手助けや、その人に合った工夫が必要なこと」です。風邪のように治る病気ではなく、原因は不明です。

知的障がい・発達障がいのある子どもたちは次のようなことが苦手です。

- 言葉を使って自分の気持ちをうまく伝えること
- 相手の行動を見て、それに合わせて話すこと
- 自分の行動を「まずいな」と気づいて変えること
- お金の計算をしたり、時間を計ったりすること



「障がいのある子ってどんな気持ち？」なのを知るための3つの体験コーナーがありました。

ことばが分からない、伝わらないってどういうこと？

部屋に入ってみると、全然わからない言葉で話しかけてくる、自分が話す言葉も相手にさっぱり通じない、という体験です。言葉でコミュニケーションがとれないのはイライラ、ジリジリします。

どんなふうに見えるの？

障がいのある子の中に「ひとつのものしか見えなくなる」「見たいものしか見えなくなる」という不思議な見方をする子がいます。視野が極端に狭くて周囲が見えない特殊メガネでその体験をしました。このメガネでモノを探すのは本当に大変でした。

うまくできないってどんな気持ち？

軍手をゆるゆるにはめて折り紙を折ります。指先がうまく使えないため、なかなか思うように折れません。そこに「急いで！」「もう時間がないよ！」と声がかかると焦ったり、くやしくてやる気がなくなったりしました。

障がいのある子どもたちはこんな気持ちで日々頑張っているということを実感できました。



では、障がいのある子どもたちと接するにはどのようにしたらよいのでしょうか？

わかりやすい話しかけ方

○ひとつずつ、ゆっくり、短く、はっきり、目を見て、やさしく

×イライラしながら、きつく、大声で、大勢で、しつこく、早口で

気づいてもらいやすい話しかけ方

○名前を呼んで気づかせる、正面から声をかける

×後ろや横から声をかける、遠くから声をかける

うれしい接し方

○はげます、出来ることは自分で、できないことだけ手伝う、待つ、ほめる

×イライラ、全部やってあげる、お世話しすぎ、早く！、遅い！

小さい子やお年寄りと接するとき、または困っている人がいたら自然にこういう行動をとっているはずですが。「接し方のコツ」は、特別なことではなく、誰もが持っている、誰にでも使える「やさしい気持ち」なのです。

この公演をきっかけに「やさしさの輪」が地域に広がっていくことを願ってやみません。

最後にお母さまたちの実体験とお気持ちをお聞きしました。

わが子が発達障がい、自閉スペクトラム症と診断され、初めて障がいについて知ったときは自分の子育ての夢が一瞬にして崩れてゆき、心がついていけなかったそうです。でも、療育教室で訓練に打ち込み、ママ仲間と出会い、失敗談を話し、笑いあって真っ暗闇の子育てから抜け出すことができたとのことでした。

「困った子」ではなく、「皆さんの助けを必要とする子」なので、やさしく見守ってくれて、声をかけてくれたらうれしいとおっしゃっていました。母の心が痛いほど心に響きました。

地域の活動紹介

◆ 元気会の登校児童見守りパトロール (松前台2丁目)

松前台2丁目の「元気会」では現在有志2名による松前台小学校区内の青パトによる登校時パトロールを週3回のペースで行っています。

当初学校からの依頼を受けて期間限定で終了する予定でしたが、パトロールしている方が通学の安全と児童パワーに感動し、学校側に継続の許可を頂き現在に至っています。



今ではすっかり児童とも顔馴染となり車で会う全ての児童に窓ガラスを空け、「お早うございます」と声を掛けると笑顔で挨拶を返してくれます。

パトロールを始めて5年になりますが、この素晴らしい子どもたちが無事登校出来るよう体力の続く限り継続して行きますとのことでした。



行事・活動予定 平成28年3月～6月

◆ 予定が変更される場合もありますのでご了承ください

異世代交流事業 守谷おもちゃ病院	4月14日(木) 5月12日(木) 6月9日(木) 10時～12時 (キターレ児童センター)
グラウンドゴルフ (地域福祉活動計画 実行委員会グラウンドゴルフ部会)	毎月第1・3水曜日 (大山公園) 毎月第2・4水曜日 (薬師台5丁目 多目的広場) 9時30分～12時
どこでも茶屋 ぶらぶら亭 春シリーズ	3月20日(日)～ 6月19日(日) 毎週日曜日 (大山公園) ただし 4月3日(日) 4月10日(日) は立沢公園

編集後記
一ふれあい北守谷を
発行して一年が
経ちました。新し
い年になって決意
を新たにされた方
も多いことと思っ
ます。本紙も今年
からは少し内容を
変えて、福祉関係
の記事をより多く
取り上げたいと思
います。これから
もご意見・ご要望
をお寄せください。

北守谷地区内の 老人会を紹介します

薬師台 悠友会

活動計画を練る役員さんたち

「悠友会」の概要

設立 平成17年6月

特長 本会は、これまでの「老人会」とはちょっと違ったユニークな集まりです。会員相互の親睦を中心に、(イ) 家族への不満や他人の悪口は一切言わない (ロ) 過去の職業や特定の宗教・政治の話は持ち込まない、をモットーに、これまでに、歩く会(定例散歩、各所探訪)、四季の集い(新年会、花見、食べる会、暑気払い、忘年会)、旅行会(日帰り、一泊)、カラオケ会等を続け、更に加えて、有志による大井沢小学校の児童を対象にした昔の生活や戦争の話、昔の話の手ほどき等を行ってきました。

事務所 飯沼忠義会長宅 ☎0297-45-0800

会員数 27名(男性15名、女性12名)

入会資格・その他

地域 薬師台、板戸井及びその近隣にお住まいの方

年齢 原則として男性は60歳以上、女性は55歳以上

会費 入会金1,000円、年会費2,000円



発行者 北守谷地区地域福祉活動計画実行委員会

(広報担当 赤井、江口、神山、小西、神宮、鈴木、野田、布川、増田)

お問い合わせ・ご意見・ご要望は布川まで (080-2340-2567)